

桜島一周遠行 (2024.12.14)

恒例の桜島一周遠行が行われました。中学1年生から高校2年生までの生徒が、それぞれのペースで一周約35キロの踏破を目指しました。

この行事の実施に当たり、私たちはまず桜島の最近の活動状況を検討して安全に一周できることを確認し、次に生徒の安全と健康を守るため、きめ細かい事前指導を行いました。生徒全員に要項と地図を配付し、学年集会やホームルームの時間を使って、目標時間、服装や所持品、マナー、歩道設置状況を踏まえて道路のどちら側を歩くか、トイレの場所、緊急時の動き方などを丁寧に説明して十分に理解してもらいます。また各学年の体育の時間にも、遠行のための体力作りを念頭に置いた指導を行いました。

当日。自宅生は各自、自宅外生は学校から貸し切りバスで、それぞれ桜島棧橋へ向かいました。学年毎に時刻をずらしてフェリーターミナルに集合し、下の学年から順に、一隻に一学年ずつ乗船します。現在、桜島フェリーは朝の時間帯には20分毎に出港しておりますので、学年が上がる度に20分ずつハンディがつく形になりますし、スタート時に大集団が一斉に動く事態も避けられます。

鹿児島港から桜島港まで15分の船旅ですが、気心の知れた仲間と船に乗ることはめったにないので、その非日常感に皆の笑顔がこぼれました。また日頃は遠くから眺めるだけの桜島が、目の前で大きくなっていくにつれて、この山の周りを一周するという実感がだんだん沸いてきたようです。

船を下りたら早速出発です。最初の2キロ足らずは体を慣らすためもあって、教員が先導してゆっくりしたペースで歩きます。その区間を過ぎると、走り出す人もいましたが、多くは仲間と連れだって、桜島の雄大なたたずまいと、錦江湾の美しい眺めを楽しみつつ進んでいきました。しかし時間が経つにつれ、歩くペースの違いから、グループが次第にばらけ、集団は縦に長くなっていきました。最初の10キロあまり海岸線に沿っていた道は途中から山の方に入り、カーブやアップダウンが多くなります。桜島をめぐる国道や県道は毎年のように改良工事が行われて、おかげで年々歩きやすくなってはいるものの、歩行には気をつけなければなりません。

教員は学年毎に数名ずつ、特に学年最後尾の生徒を守りながら一緒に歩きます。それ以外の教員は車でルートを巡回して列が広がらないよう指導したり、実行委員や異状のあった生徒を搬送したりします。さらに教員は注意が必要なポイント十数カ所に立って直接声をかけ、生徒が事故に遭わないよう、また体調が優れない生徒を見逃さないように努めています。ほとんどの場所には歩道が整備されていますが、公道を歩くのですから、教員も緊張感をもってそれぞれの持ち場で生徒をサポートしました。

鹿児島市立黒神中学校のご厚意でグラウンドをお借りし、ここに中間チェックポイントを設置しています。生徒はまず中間チェックを受け、その後グラウンドに座り込んで休憩し昼食を食べます。のんびりする生徒もいましたが、ゴール時間の目標を決めている生徒は、休憩もそこそこに再び走り始めました。

後半、次第に疲れがたまり、膝やかかとを痛めたり、マメがつぶれたり、靴ずれができたりして足取りの重くなる生徒が増えます。他の人とペースが合わず、一人で歩く生徒も増えてきますので、ポイントで指導に当たる教員は必ず声をかけて励まします。二人や三人連れで歩く生徒たちも次第に口数が少なくなります。そこは仲間同士、ペースを調整し、励ましあい、またグループによっては荷物を持ってあげて、助け合いながら歩いて行きます。それもきっと良い思い出になることでしょう。

やがて「ゴールまであと5キロ」とか「2キロ」という看板が見える度に「やった、もうすぐだ」と声を出して力を振り絞ります。コースの最後は「溶岩道路」。ここは歩道がとても広くゆったり歩けるものの、直線が2キロ以上続き、歩いて歩いても風景が変わらない、脚を引きずる生徒にとってはなかなかつらい道です。そこをクリアして林を抜けると、ゴールである桜島補助体育館が見えてきます。生徒は最終チェックを受け、校長先生に出迎えられ、うどんをいただきました。寒い中頑張ってきた生徒たちには、うどんの温かさとおいしさがひときわしみるようで、ブルーシートに座りこんで食べる生徒の笑顔が印象的でした。

脚の不調や体調不良でやむなくリタイアした生徒もいましたが、ほとんどの生徒は午後4時までに無事ゴールして、達成感を味わいました。他のイベント同様、ここでも生徒会を中心とする生徒実行委員会が運営に活躍しました。

この行事を通じて、本校生は皆、確実に逞しくなります。特に中学上がりの高校2年生はここまでに4回(2020年は中止)桜島を周回したことになり、回数を重ねて自信もついたようです。



フェリー上から桜島を見つめる



スタート直後。皆元気です



黒神中学校グラウンドで昼食



18キロ付近。桜島を常に右手に見ながら歩きます



先頭ランナー（彼がそのまま1着でゴールイン）



黒神口（21.5キロ）付近



31キロ付近 あと4キロ!!



溶岩道路 ゴール直前にしてこの余裕



ゴールで生徒を出迎えるドミンゴ校長先生



うどんと達成感を味わっています